

第5号議案 名誉会員承認の件

名誉会員に関する規程第2条の推薦基準に基づき、古川宏氏を名誉会員に推薦する。

古川 宏（会員番号84）

〈推薦理由〉

1968年に入会し、正会員歴は54年、協会活動歴も53年に及ぶ。そのうち50年にわたって切れ目なく本会の役員を務め、常務理事（1971～1973年）、監事（1973～1975年）、常務理事（1975～1987年）、副会長（1987～1991年）、監事（1991～2021年）を歴任。この間、協会内の職務としては、庶務部長（1971～1973年）、学術部長（1975～1979年）、広報部長（1979～1981年）、福利部長（1981～1989年）を務めたほか、教育部、選挙管理委員会、規約委員会、保険対策委員会などの活動に従事した。本会の歴史とともに歩み、本会事業の基盤整備、発展と推進に尽力し、後年は適切な助言と指導を通して理事会を支え導いた功労は甚大である。

職歴においては、整肢療護園（1968～1970年）、東京都心身障害者福祉センター（1970～1982年）を経て、神戸大学（1982～2007年）、神戸学院大学（2007～2015年）、大阪人間科学大学（2015年～現在）に奉職。多くの優秀な作業療法の臨床家と研究者を育ててきた。

また、本会以外では、日本リハビリテーション医学会、日本義肢装具学会等に所属し、特に義肢装具学、リハビリテーション機器の分野で著しい功績を上げ、これらの学術分野と作業療法とを結びつける架け橋として先駆的且つ指導的な役割を果たしてきた。

〈協会役員歴〉 50年

副会長	1987年8月～1991年7月
常務理事	1971年6月～1973年5月
	1975年6月～1987年7月
監事	1973年6月～1975年5月
	1991年8月～2021年5月